年間授業計画　様式例

東京都立つばさ高等学校 令和8年度（１学年用）　　教科　国語　　科目　現代の国語

教　科：　国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　　組～　　組

使用教科書：（　第一学習社　高等学校　現代の国語　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】・実社会に必要な漢字、慣用句等の知識を身に付けるとともに、基本的な文章の構成を学び、実際に活用できるよう理解する。

【思考力、判断力、表現力等】・文章を読み、考えたことを他者に伝えるために適切に表現し、共有することで国語的思考力、判断力、表現力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】・積極的に近代の文章に触れ、自らの知識や技能、思考力、判断力、表現力を伸長させようとしている。

科目　現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
小テスト及び定期考査で、漢字、慣用句、難解な語句の意味が理解できているかを確認し、その得点に応じて評価する。	授業で行う表現活動及び、定期考査の読解問題の得点で評価する。	出席状況や提出物の提出状況、また授業に興味を持ち、誠実で主体的、協働的に取り組み、謙虚に学ぶ姿勢を持っているかで評価する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	本当の自分」幻想（平野啓一郎） 【知識及び技能】 ・本文中の常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」を用いて、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、読み手に伝わりやすくなるよう表現の仕方を工夫して書く。	・指導事項 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉えることで要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠を明確に示す。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報の持つ関係性を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・一人１台端末の活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	13
	水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」を用いて、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・洋の東西の対比を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて、本文中以外の題材を積極的に探し、表現の仕方を工夫して説明しようとする。	・指導事項 ・洋の東西の対比を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じるという叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が詠み手に的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・洋の東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・一人１台端末の活用		○	○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	10 7
							○	○		1

2学期	羅生門（芥川龍之介） 【知識及び技能】 ・登場人物の心情を様々な描写に注目して読み取る。 ・文中の表現の表現効果について理解する。【思考力、判断力、表現力等】 ・「下人」が盗人になるまでの考えを整理し、言語化して表現する。 ・老婆の弁明を自身はどのように捉えるかを考え、現代の倫理観と照らし合わせて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・下人の心情の推移について順序だって読むことができる。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとする。	・指導事項 ・「からす」や「きりぎりす」についての言及がもたらす表現効果について理解する。 ・下人の心理について、単に盗人と飢え死にの間で迷っていたのではなく、そこにあった様々な「勇気」について解釈する。 ・下人の善悪の判断が「合理的」ではないことを認識させ、下人の行動が正義感だけによるものではないということを理解させる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、説明の仕方を工夫する。 ・老婆の自己正当化の論理を理解し、自分の意見や考えを論述する。 ・読み取ったことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	○	【知識及び技能】 ・登場人物の心情を様々な描写によって読み取り、理解している。 ・文中の語句の表現効果について考えられている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・老婆の弁明を自身はどのように捉えるかを考え、現代の倫理観と照らし合わせて説明できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・下人の心情の推移について順序だって読むことができている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしている。	○	○	○	10 10
	現代の「世論操作」（林香里） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、具体的な情報と抽象的な情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。	・指導事項 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・一人１台端末の活用		○	○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。	○	○	○	9

3学期	フェアな競争（内田樹） 【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集して、伝える内容を検討する。 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話し、相手の理解が得られるよう表現を工夫する。 ・話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を相互評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げ深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行う。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとする。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価する。	・指導事項 ・筆者が自説を述べるための論理を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要点をまとめる。		○	○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。	○	○	○	10 合計 70